

じぞう お地蔵さまのプロフィール



お地蔵さまは町のあちこちに、また墓地の入り口など、おもに野外におまつりされています。日本では観音さまよりも多くおまつりされている菩薩です。子どもの守り本尊ともいえます。菩薩は仏さまとはちよつと違って、仏さまになる前の候補者ということなのですが、お地蔵さまは自ら菩薩という地位にとどまって、すべての生き物の救いとなるために活躍している菩薩といえます。

昔話の中にもみんながよく知っている「笠地蔵」や「地蔵浄土」「猿地蔵」などのお話があるように、昔むかしからみんなに親しまれてきたお地蔵さまです。



イキイキ☆コドモタイムズ

第9号

発行
浄土宗児童教化連盟

事務局
〒590-0935
大阪府堺市堺区
神明町東3-1-40
法伝寺内
TEL・FAX
072-233-5354

ゲジゲジ和尚の

ぽっかぽか日記

「こころをきれいに」



やあ、ゲジゲジ和尚じゃ。みんな元気にしておるか。

日本には町にゴミがあふれているところがまだまだあるようじゃ。みんなの回り：学校や家ではどうかな。きれいになっているかな。

外国ではゴミを捨てたら罰金をとられるところもあって、そのようなところでは町はきれいなもんだ。

回りがきれいだと、なかなかゴミも捨てにくいもんだが、散らかっているところとあまり気にならなくなって、「ま、いいか」とゴミを捨てたりする。

それと同じで、心の中が散らかっているところとちよつとしたことで怒ってみたい、素直な気持ちになれなくなったり、いい加減な気持ちになったりしてしまうものじゃ。

普段のみんなはきつと素直で心のやさしい子どもだと思ふ。けれどもずっと同じ気持ちを持ち続けることは難しいなあ。君たちの服でも、汚れたら洗濯したりクリーニングに出すだろう？ だから心がよれてき

たら、時々そうじをしてほしい。

えっ、どんなそうじをするんだって？ それは、いろいろな人や自然に感謝の気持ち、ありがとうという気持ちを持つこと、これがクリーニングの秘けつじゃ。

人は一人では生きていけない。いろいろな人の支えや自然からのめぐみによって生きていくことができる。そのことはよくわかるだろう？ 心がよれてきたら、自分一人の力で生きていると思ってしまうんだな。そうすると回りが見えてこない。「あつ、ちよつと心がよれてきているな」と思ったら、心のそうじをしてほしい。そうしたら君たちの心は元通りきれいになると思ふぞ。

君たちの心の中にいつも仏さまに住んでいただけるよう、心の中をきれいにしておこう。

そうそう「ナムアミダブツ」と仏さまへのごあいさつも忘れないでな。

(浄土宗社会国際局長 谷地玄雅)

お地蔵さまのプロフィール

またお地蔵さまにはいくつもの種類があります。例をあげてみると、「延命地蔵」「子育て地蔵」「子安地蔵」「とげ抜き地蔵」「身代わり地蔵」「安産地蔵」「釘抜き地蔵」「首なし地蔵」「ぬりこべ地蔵」「水子地蔵」「汗かき地蔵」「船乗り地蔵」「しぼり地蔵」「洗い地蔵」「おしろい地蔵」「あんこ地蔵」「咳止め地蔵」「いぼ取り地蔵」などです。それだけ人々に親しみのある菩薩なのです。

お地蔵さまの頭はツルツル頭です。他の菩薩は髪の毛があるのに、どうしてお地蔵さまだけ坊主頭なのでしょう。それはお地蔵さまが修行中のお坊さんの姿をしてこの世に救いにきてくれていることを表しているからだといわれているよ。お地蔵さまのおもな持ち物に二つあります。右手には「錫杖」といって、修行中のお坊さんが持つ杖。左手には「宝珠」という玉です。「宝珠」は願い事をかなえ



大地蔵



てくれたり、苦しみを取り除いてくれる玉です。よくお地蔵さまに赤ちゃんがつけるよだれかけが着けてありますが、これは不幸にして幼くして亡くなった赤ちゃんや子どものことを思ってお母さんがお地蔵さまにお供えして着けてあげているのです。みんなの近くにはどんなお地蔵さまがおられるのかな。一度さがしてみてお参りしてください。

イキイキ自然学校

いろいろな違いを見てみよう

日本レクリエーション協会 インストラクター 永目喜一郎

秋になりいろいろな草花が目につくようになりましたね。道ばたや野原に行くと九州ではヨメナ、本土ではゆうがぎく等のキク科の花がよく見られると思います。

用意する物 人数何人でも、キク科の花で同じ種類の花を人数分、あまりよけいに取ると花がかわいそうです。全員で丸くなって、リーダーの指示に従ってください。リーダーは好きな人のことを話して花ピラを1枚ずつ好き、嫌いといいながらちぎっていきます。みんなはリーダーと一緒に1枚ずつちぎっていきますが、リーダーの好き、嫌いではなく花ピラをちぎりながら1枚、2枚と数えて下さい。

リーダーは参加者の持っている花の花ピラがなくなるまで好き、嫌いと言います。途中で花ピラがなくなっても最後まで続けて下さい。最後の人の花ピラがなくなったら最初になくなった人から花ピラが何枚あったかを順番に言ってもらいます。

私の経験では8枚から15枚までの誤差がありました。リーダーは奇数だった人は両思い、偶数だった人は片思いですよと語り、同じ花でもこんなに花ピラの数の違いがあることを教えます。自然の物の多様性が分かると思います。

ウコギ科のヤツデの葉の分かれ方にしても8枚に分かれているものはほとんどありません。少ないものは7枚から多いのは12枚位に分かれ、なぜか8枚のものはめったに見られません。ソメイヨシノとサクラでもほとんどは5枚ですがよく数えてみると3枚から6枚位のばらつきがあります。このように人間も含めていろんな違いがあることを知り、友達とも仲良くしていきましょう。



錫杖

宝珠

ナムナム 質問箱

質問

お彼岸の時に墓参りをしたのですが、お墓には名前の書かれた木の板が立てられていました。あれは何なのですか。どういう意味があるのですか。
(京都 小六 女子)

答え

お墓にお参りすると、亡くなった人の法名が書かれた木の板が立てられていて、ところがありますね。

あれは塔婆(とうば)といいいます。塔婆の「婆」はおばあさんの「婆」です。ねえ。「塔」は高い建物ですから、塔の中にいるおばあさんでは意味不明ですね。

正しくは卒塔婆(そとうば)で、略して塔婆なんです(もっと略したのが「塔」です)が、もと

とは日本語ではありません。古代インドの言葉「ストウパー」を音写したものが卒塔婆なんです。

ストウパーはお釈迦さまのご遺骨をおまつりした塚を意味しています。古代インドではお饅頭の形に土を盛り上げてお墓を作りました。お釈迦さまのご遺骨もそういうお墓に収められて供養されました。

やがて仏教が中国に伝えられて、亡くなった人を供養するために中国の様式で高層建築物のストウパーが建てられました。それが日本でも造られた三重の塔や五重の塔です。

仏塔を拜むことはとても功德のあることだとお経には書かれています。

日本では先祖を供養し敬う方法の一つとして、塔婆による供養が行われるようになりました。亡くなった人の命日に合わせて供養のために塔を建てているのです。

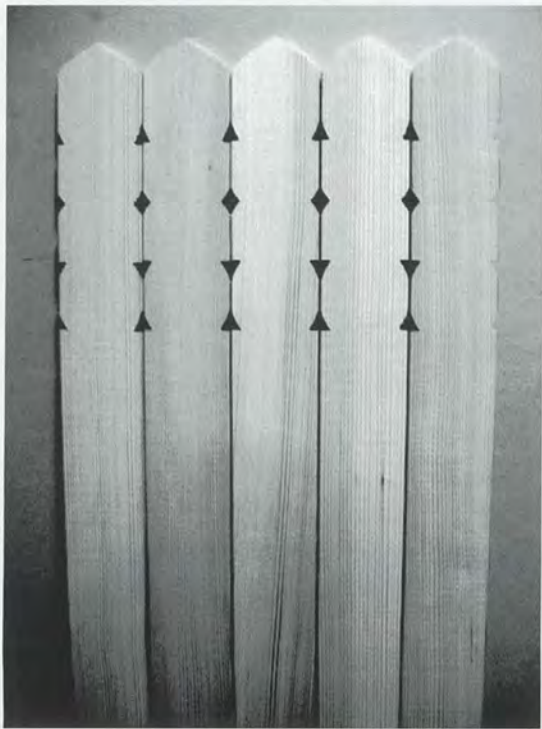


イラスト by 池田 敦

みんな、できるよ!

で あ ほうほう かつ
手当ての方法 (やり方)

ショック



- (2) 脈は早く弱く
- (3) 冷や汗をかき、手足が冷たくなる
- (4) 気力のおとろえ
- (5) 呼吸は浅く早く
- (6) ひどくなると、目まいや吐き気

○手当て

(1) 右の症状が現れたら、救急車をたのむ。

(2) ショックの原因に対して手当てをする。

・出血には止血

・呼吸の乱れには気道の確保
(やけどの手当てなどは今後発表の予定)

(3) 水平なおむけに寝かせ、足を少し高くする。

(4) 保温する。

・毛布などでくるむ。

・温度を加えることはしない。暖めすぎは悪化の原因。

(5) 体と心を安静にする。

・励ましの声をかける。

・優しくし、静かにさせる。

・立たせたり歩かせたりは悪化の原因、絶対にさせてはいけません。

(6) 体と心を安静にする。

・励ましの声をかける。

・優しくし、静かにさせる。

・立たせたり歩かせたりは悪化の原因、絶対にさせてはいけません。

(7) 体と心を安静にする。

・励ましの声をかける。

・優しくし、静かにさせる。

・立たせたり歩かせたりは悪化の原因、絶対にさせてはいけません。

(8) 体と心を安静にする。

・励ましの声をかける。

・優しくし、静かにさせる。

・立たせたり歩かせたりは悪化の原因、絶対にさせてはいけません。

(9) 体と心を安静にする。

・励ましの声をかける。

・優しくし、静かにさせる。

・立たせたり歩かせたりは悪化の原因、絶対にさせてはいけません。

けがのため出血したり、急病のため血液の循環がくるった時、体全体が元気の無い状態になる、それを「ショック」とよぶ。出血量が多ければ多いほど、やけどの面積が広がれば広いほど、強いショックにおちいる。脳への血液の流れが少くなり、命が危険な状態となる。素早く手当てしなければいけない。



○このような症状になる。
(1) 顔色が青白く

*ショック症状をあまく見てはいけません。「かぜは万病のもと」と言うと同じに、ショックは全身の悪化のもと(原因)となる。命にかかわる問題と認識しよう。

君も達人になれる

仏事をマスターしよう！

第8回 お供え (その1)

仏さまにお供えするものは、いろいろあります。
お花やお香、ロウソク等のおひかりといったものもお供えです。
しかし、単に「お供え」と言えば、ご飯やお菓子、水やお茶といった飲食物を指すことが多いです。
日頃は、炊きたてのご飯、汲みわたの水(あるいは入れたてのお茶)をお供えします。
「仏さまは湯気を召し上がる」とか「仏さまは香りを召し上がる」などと申します。毎朝、炊きたてのご飯をお供えし、お仏壇に手をあわせてから一日を始めることができるように勤めたいものです。

これも仏教の「四苦八苦」言葉だよ！

物事がうまく運ばず、とても苦しんだ時に「いやあ、四苦八苦したよ」ということがあります。これは「生きていると多くの苦しみがある」とお釈迦さまがおっしゃっていることから来ています。
四苦とは人生における四つの苦しみ。生(生まれる)・老(老いる)・病(病気になる)・死(死ぬ)の四つ。
八苦はさつきの四苦に、愛別離(好きな人と別れる苦しみ)・苦(好きな人と別れる苦しみ)・怨憎会(きらいな人と会う苦しみ)・求不得(求めても手に入らない苦しみ)・五陰盛(すべての苦しみ)の四つを加えたもの。両方合わせて四苦八苦ということなのです。
お父さんお母さんはみんなを育て、守るために四苦八苦されているんだ。だからあまりわがまま言わないようにね。



ちがいがし



前回の答え...

- 1. 星の数
 - 2. 左はしのちようちんの色 (赤とピンク)
 - 3. 音符の数
 - 4. たれまくの赤のラインの数
 - 5. 女の子の帯の結び目
- *ちようちんの色が印刷の関係でわかりにくかったと思います。

お知らせ

浄土宗児童教化連盟では来年度の春休み期間中、三月二十四日(月)二十五日(火)一泊二日の日程で、京都・総本山知恩院において「全国檀信徒子ども平和会議」を開催します。全国のみなさんに「平和」について考えてもらいたくこのような催しを企画しました。話し合いだけでなく、いろいろな楽しい内容もあります。なお参加対象は小学5年生から中学3年生までです。
春休みのひとときを京都のお寺で過ごしませんか。多くの人の参加を待っています。
お問い合わせは事務局まで。
TEL-FAX 072-233-5354
Eメール puk-puk@wfb-so-net.ne.jp

いよいよ秋本番。木々の葉っぱは赤や黄色と色とりどりに染まります。でもそのうち木の葉は落ちて掃除をしないとイケません。これも一苦労です。いいことはかりではありませんね。
右の絵と左の絵のちがうところを5つさがしてください。正解者の中から抽選で30人の皆さんに記念品をプレゼントします。しめきりは12月10日です。送り先は左記まで。意見や感想もいっしょに書いてね。
送り先 〒590-0915 大阪府堺市堺区神明町東3-1-40 法伝寺内 浄土宗児童教化連盟事務局 TEL-FAX 072-233-5354 Eメール puk-puk@wfb-so-net.ne.jp

ぱくぱく編集室



今年の夏は暑かったです。毎日猛暑日(三十五度以上)が続いて、大人たちはこの暑さにはまいていました。みんなは大丈夫でしたか。
人だけでなく動物たちも大変だったのではないのでしょうか。もともと寒いところに住んでいる動物も、日本の動物園ではぐったりといった様子でしたね。
秋はいいですね。涼しくなつて何をするにもいい季節です。スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋。
学校や幼稚園・保育園、地域においてもいろいろな行事がおこなわれると思います。
みんなの秋の楽しみは何ですか。
秋のいい思い出をたくさん作ってください。

